



志津南 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (9/30 現在)
世帯数 2,268 総人口 6,253 人
発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

質疑に答える橋川市長

市長とトーク

通学路の安全確保を市に要請 山手幹線の学区内通過で



づくりトーク」を開催しました。平成35年供用開始予定の「山手幹線」の学区内通過に伴う諸問題について、意見交換しました。

まず、橋川市長から、整備主体の県に確認したところ、現在は草津市内の1.4kmのうち92.2%の用地買収が終了、工事も今年度中に草津川橋梁から着工予定で契約締結を終えていると説明を受けました。

おうみ通学路交通アドバイザーの佐々木奉昭さんが、安全への懸念について発言しました。山手幹線は学区内の通学路中最大の交差点で、多くの人が山手幹線開通時の通学路の安全確保に関心を寄せています。小学校児童680人の8割ががやき通りを通学路として利用しています。中学生の自転車も多く、看板を作成



通学時の児童の長い列

志津南学区まちづくり協議会(花澤仁左衛門会長)は、10月6日、志津南まちづくりセンターで「市長とまち

し、かがやき通り南側は自転車に車道を走るようお願いをしていますが、自転車被害者にも加害者にもならないよう注意が必要です。

また、安全パトロール代表の和田基さんからも、登下校の安全確保について市長に、検討を要請しました。市長は子どもたちの安全への配慮に謝意を示し、多くの児童が利用するため安全確保が大切な場所だと思っているとの述べました。また市長が職員と9月26日に状況を視察、2列に並ぶ事も難しい人数で、一度の信号で渡り切れない状況も把握しています。平成25年にスターの協力で北側に信号待ちの待機場所を確保しましたが、更なる安全対策の必要性を認識しています。

歩道橋の設置が抜本的な解決の一つになると思えます。以前から県に、歩道橋の設置を働きかけていますが、中々理解は得られませんでした。ただ、山手幹線が整備されると、国道1号線のバイパスになり通行量が



緑化や路上駐車も話題に
できることは自分たちでやるということ、公園緑地の維持に努めています。一番苦慮しているのはかがやき通りのケヤキ。通学路についても、萱で子どもたちが手を切ったり、カイズカイブキの枝が通学路を阻んだり。側溝の清掃、調整池の草刈り、伯母川の清掃。この地区だけでできない事もたくさんあります。

続いて緑化ボランティアの会代表の舟木要一さんから、日頃の緑化活動について説明するとともに活動への支援を要望しました。写真。

若草7丁目の裏山は現在、飛鳥建設の管理ですが、1、2年のうちに撤退すると聞いています。維持管理を市か県にお願いしたいと思っています。地域のボランティアを活用することで節約できた費用をみちサボの経費に回していただければありがたいと話しました。

調整させていたただきたいと返答がありました。また、まちづくり協議会の花澤会長から「郵便局や若草診療所前の路上駐車の解消について、何か良い方法はないか」とい質問にしたのに対し、橋川市長は「対策は今思い当たらないが、駐車場が足りないのでは、施設が経費を出して駐車場を確保する方向で進めてもらおうと思う」と答えました。

今後動きがあれば逐次お知らせしていきます。

を設けるのは、難しい話だといふ返答がありました。他の理事からも横断歩道が必要箇所が他にもあるなどの問題も指摘されました。市長からは、植栽を取ることにはリスクも伴い、今後地元と相談して対応していくこと、地域からも引き続き要望を出して欲しいと

ハロウィン工作楽しむ



魔女や黒猫、海賊などの衣装に身を包んだ子ども達が集合し、ハロウィンのイベントに参加しました。

若草、岡本西地区子ども会(北野実果会長)は10月28日、志津南まちづくりセンターで秋のイベントを開催しました。

大興奮。棒つきキャンディーに黒のモールを巻き付け足を作り、目玉を貼れば世にもおもしろいスパイダーキャンディーの出来上



親子で楽しく体操遊び

志津南学区民生委員児童委員協議会(垣根和子会長)は10月12日、まちづくりセンターで未就園児と保護者を対象に「親子ふれあい広場」を開催しました。

松浦広暉ガッツ体操スクール代表を招き、「親子たいてそ遊び」を実施、30組の親子60人が集いました。

プログラムは4コースあり、まず「動物にへんしん」でお母さんの背中にもたがりお馬さん。次は「乗

り物にのろう」でお母さんの膝に乗りポトでスイスイ、高く持ち上げて3・2・1口ケツ発射。お母さん達も体力勝負です。そして「できるかな」では片足バランス。お母さんに両手を持ってもらい逆上がり。最後は「みんなでチャレンジ」。マット上でおひもゴロゴロ、でんぐり返し、棒にぶら下がったりロープウェイ等、順にレベルアップしていきま

した。こうして親子は、全身を使って楽しく気持ちのいい汗をかきました。一歳前後

の乳幼児には難しい内容は見学してもらい、また今後の親子のスキンシップに活用して欲しいと思われました。体操あそびが終わると、民生委員児童委員から、やさやかなプレゼントを渡しました。「ありがとう」と笑顔が帰ってきました。

この子どもたちの健やかな成長を見守り続けていく大切さを感じ、年に一度の開催ですが、子育てを頑張っている人たちの支援の一環として今後も継続して取り組んでいきます。

(民児協)

かわいい仮装



子育てサークル若草ひよこっこ・おやこっこクラブ合同のハロウィンパーティーが10月26日、志津南まちづくりセンターで開催されました。

お姫様やミニオンなど可愛い仮装で26組の親子が参加しました。最初は紙皿を使っ

た「家でもう一度やりたい」また、協力者の大人たちからも「これまで経験したことがなく楽しかった」との声が上がるなど、思い出に残る体験となりました。

紙で作った形の違う立体をねじったり裏返すと同じ形になったり、筒状のゴムに切り込みを入れて一つおきに裏返すと鎖状になったり、ねじれた輪の中央部を切るとつなぎ目のない鎖状の二つの輪になるなど不思議な工作に真剣に取り組ま

ました。また、三角形や四角形の紙に切り込みを入れて作ったという複雑なご状の立体には歓声が上がりました。子どもたちから「不思議な形を自分で作って楽しかった」という声も聞かれました。びっくりするほどの大きなサツマイモや、連なって実っているサツマイモを引き抜いてみんなに見せる子ども達。とてもたくさん収穫できました。次は、収穫祭を開くために、学級で相談しています。

立体の不思議に歓声



かわいいカバンです。カバンが完成するととても優しい英語の魔女先生の登場。みんなで英語の歌を歌いながら手遊びをしたり、体を動かしたり。最後にとっておきの合言葉「トリック オア トリート!」

を教えるもらいました。合言葉を言いながらホールの中をまわり、みんなたくさんのお菓子をゲット。自分で作ったカバンの中にもらったお菓子を嬉しそうに入れるニコニコ笑顔の子どもたちでした。

志津南小学校の二年生128人が10月18日、春に植えたサツマイモを収穫しました。写真。



大きな芋にびっくり

8月を除く毎月10日前後に「志津南ハートデー」として志津南小学校校門であいさつ運動を実施しています。写真は、今回は10月10日に参加しました。5・6年生もハート委員会を作って活動しています。

地域全体で元気よくあいさつができるように啓発に努めていきたいと思います。

力を合わせて、全力で



志津南小学校（水野晃校長）が10月8日、第31回南っ子わくわく運動会を行いました。写真。

雨で1日順延、朝早くからグラウンドを整備し開会式がスタート。校長先生が「全力で力を合わせて笑顔で楽しい運動会にしましょう」とエールを送りました。縦割りの四団がリーダーの振る応援旗に合わせて、それぞれ団の言葉を唱和しました。低学年のボンボンを手に踊る演技や仲良くバトンを繋ぐ姿がとても可愛く、観客は笑顔になりました。中学年のエイサーでは、パールの音と勇壮な舞い、

の島」でもあります。レンタカーで島の北端の番岳展望台へ。ここからの眺めは五島列島はもろろん、小値賀島、宇久島、平戸島、生月島、直近には野崎島等が星を散りばめたように散在していて、この景観はなんと素晴らしいのだから路線バスで南下し、すり鉢の底みたいな奈良尾港へ。港を囲む集落は皆急斜面で本当に野球場の底のよ

力強いかけ声が響き渡りました。高学年の組体操「未来を拓く」夢の実み（のれん）は、息が合った演技でとても感動的でした。

一人ひとりが輝く



第5回緑波くるみ保育園運動会が10月14日、家族に見守られ行われました。「われわれは宇宙人だー友達応援やお家の人と一緒に運動会をしよう」と服部登志夫園長の言葉に続き、くるみ保育園歌、そして年長児が「最後まで頑張りま

スローガン「最高のチームワークでみんなの想いをバトンに込め感動の思い出を作り出せー」の下、素晴らしい運動会となりました。

す「エイエイオー」と力強く宣誓。体操のよっちゃん先生のリードで競技がスタートしました。鉄棒・マット・跳び箱を見事に成功させ胸を張る「サーキット」は、一人一人がかがやいていました。愛らしいしぐさを全身で表現するお遊戯には、割れんばかりの拍手。また「デカパン競争」は親子で歩調を合わせてがんばりました。写真。最後の「風をきって走れ！」呼び物の年長さんによるリレーは大接戦で判定

がつかず、先生方による協議・写真判定？に会場が沸きました。

園児たちは最後までこのびと練習の成果を發揮し、楽しみました。



恒例のこの教室は、今年もアヤハ自動車教習所の先生にお願いしました。台風一過、寒い日になりましたが、約150人の園児たちが、園内のホールでビデオ学習してから、運動場で信号機を使って、実際と同じように横断歩道を渡りました。右見て、左見て、もう一度右見てから横断が出来るようになりました。



<8>

前号の続きですが、長崎県の宇久島から五島列島の中通島の有川港へ着いた途端、教会が目立ち、五島列島には148教会あると言われている、さすがキリシタンの島に着いたなとの感じがしました。この島は苦難の歴史を乗り越えて島民達が守り続けてきた多くの教会が残されています。海や山の幸にも恵まれ、もの静かな雰囲気が漂う「析

キリシタンの島

島の東北突端の橋を渡り頭ヶ島へ行くと、完成まで約10年の歳月を費やしたという教会が現れ、堂内の随所には花柄の装飾が施され「花の御堂」と呼ばれる石造りの立派な教会でした。

有川港のバスターミナル



長崎県の五島列島福江島

うな感覚で、港内の眺望は良好でした。

長崎港から高速船に乗り五島列島の福江島へ。島は

大きく見所も多かったので、予定より日数が増えました。また、この島は古来、朝鮮や中国との往来の要衝だったそうです。五島市は島とは思えない位の繁華街もあり、港の直近の武家屋敷、石田城跡、五島邸を散策し、島内はレンタカーで廻りました。印象的なのは空港横の鬼岳で、標高が315メートル、全山芝生で覆われた白状の山です。冬季は大人も一緒に子供達が「風揚げ」をする場所でもあり、西海国立公園を代表する景観の一つです。

奈留島、久賀島は入江の多い閑閑な島でした。

若草一恒例のワンファミリアフェス



若草一丁目町内会が10月8日、「ワンファミリアフェスティバル」を開催しました。写真。

今年、「ご近所力UP」をスローガンに、いざという時の共助の環境づくりや親睦を図ることを目的に実施しました。まちづくり協議会の花澤仁左エ門会長、

交通安全を学ぶ



草津東交通安全協会志津南支部（佐々木奉昭支部長）が10月30日、緑波くるみ保育園で交通安全教室を開催しました。写真。

二丁目の小林克依会長を招き、盛り上がりました。午前中は、若草第一集会所で「たかしま災害支援ボランティアネットワーク」なまずの「いざという時のサバイバル」くまさかに役立つこんなもの」と題した講演を実施しました。新聞紙のスリッパや帽子、ペットボトルの箱で簡易椅子

人権擁護委員が交代

志津南学区人権擁護委員（任期3年）が10月1日付けで増井雅子さん（若草五丁目）から廣嶋恵子さん（若草七丁目）に交代しました。

人権擁護委員は市長の推薦により法務大臣が委嘱

子、大人用紙おむつで防寒着等「サバイバルグッズ」にも感心しました。午後から若草一丁目児童遊園でバーベキューをしたながら親睦交流を行いました。今年で四回目。すっかり若草一丁目「秋の恒例行事」となった感があります。（若草一丁目町内会長 別所健三）

人権擁護に関する諸活動を担います。草津市には各学区に1人、計14人います。具体的には、市内施設で人権相談に応じるほか、街頭で啓発活動を行います。学区内では人権教育推進委員会委員として活動に参画します。

秋晴れの京都満喫



色には、「綺麗なお庭だった」の声が聞かれました。

「平安の森」で「お造り御膳」の昼食。お刺身をはしめ秋を感じさせる旬の松茸の茶碗蒸し…。見た目も美しく美味しい昼食に、満足の様子でした。

志津南やすらぎ学級が10月26日、館外研修「紅葉の平安神宮と太秦映画村を満喫♪」を実施しました。当日はお天気にも恵まれ、26人が参加しました。

「おもしろ散策ツアー俳優さんといっしょ」では、時代劇の衣装の東映の俳優が、撮影の裏話を交えながら、おもしろおかしく案内してくれました。

手軽においしく



「また来年も参加したい。」との声を聞くことが出来

健康推進員連絡協議会

「また来年も参加したい。」との声を聞くことが出来

今回は管理栄養士の山元洋子先生を講師に迎え「手軽に作っておいしく食べ」のテーマで①鶏ごはんと②小松菜と桜えびの海苔和

大雨被災地に3万円寄付

絆バザー

ふれあいハウス「絆」は10月15日、第5回チャリティバザーを開催しました

あいにくの雨で室内での開催になりましたが、開店を待ちかねて大勢が訪れ、大盛況でした。

手作りのつばや、食器、タオル、衣類、石鹸、本など多くの提供品が並び、スタンプとにこやかに談笑しながら買い物を楽しんでも

思い出に残る一日となりました。

え③かみなり汁④ヨーグルトデザートを作りました。初めて参加した3人を含め11人の参加者からは「楽しくコミュニケーションがとれました。」と感想も。塩分控えめの料理で、少し物足りない方もおられたようですが、健推の趣旨を理解してもらいました。次回もぜひ参加したいとの意見が多々ありました。



グルメサロンで大根餅

追分南町内会「元気づらぶ」が10月20日「グルメサロン」を開催しました。

今回は大根餅とおにぎりの大根餅は片栗粉、おろし大根、干しシイタケ、干しエビ、ニラ、ネギ等を混ぜ調味料で味付けしてホットプレートで焼きます。参加者30人が、大根餅をホットプレートで焼き「うん、おいしいおいしい」と完食しました

シーで素朴な味で何枚も食べられました。

差し入れの山桃ジュースも頂き、お腹一杯になり楽しい昼食会を終えました。

飛び出すXマスカード

志津南まちづくりセンターは、次の要領で「飛び出すクリスマスカード」を開催します。

- ▽日時 12月7日(木) 10時~12時
- ▽場所 志津南まちづくりセンター 多目的室
- ▽内容 飛び出すクリスマスカードを作成します。パソコンでイラストを挿入し、工作して作ります。
- ▽対象 パソコン初心者
- ▽持ち物 はさみ・のり (パソコンは用意します)
- ▽定員 先着順 10人
- ▽参加費 800円 (材料費含む)
- ▽申し込み 12月6日(水) 17時まで、志津南まちづくりセンターへ。(電話受付不可)
- ▽問い合わせ 志津南まちづくりセンター 電話(563) 6206
- ▽パソコンの駅 パソコンについての相談
- ▽11月28日(火) 13時~16時
- ▽志津南まちづくりセンターサロン

折々の記



60歳で定年退職をして、二度目の職場で元の会社の先輩との談笑の中で「人生元気で遊べるのは70歳ぐらいまで」と言われました。私は70歳まで仕事をつもりでいましたので心の中での葛藤はありましたが、思いきって先輩の助言に賭けてみることにし、65歳で退職しました。

ケーナ奮戦記

最初はスウー、スウーと音も出ませんでした。少し音も出せましたが、少し音も出せなくなりました。でも家で練習して音が出ました。でも家で練習して音が出ました。

呼吸等々の条件を幾つか上げていくうちに、若い頃に聞いたことのある「コンドルが飛んで行く」の笛の音色が急に思い出され、ケーナという楽器にたどり着きました。しかし子どもの頃より音楽が苦手、音符どころか五線譜そのものが全く分かりませんでした。それでも、とにかくケーナを手に入れ挑戦してみることにしました。

ボックスの利用を思いつき、半年通い続けました。少しメロディーが吹けるようになり、家での練習が許可されました。でも一人で吹いても楽しくないので、GSOに入部させてもらい、早速練習に行くと、ケーナはメロディー楽器で、ピアノやギターのイントロの後、ケーナが入っていくのですが、半拍早かったり遅かったりで練習にならない日々が続きました。音楽を初めて10年、現在75歳の今、少し綺麗な音が出るようになりましたね、と言われ喜んでます。これから元気で笛が吹けるように頑張りたいと思います。GSOの皆様、ご支援をよろしく。(M・O)